

# 株式会社西建設

企業  
DATA

◎住所：八女市星野村5033 ◎TEL：0943-52-2007  
◎資本金：1,000万円 ◎設立：1976年(昭和51年)11月  
◎正社員数：23名  
◎HP：<http://www.nishi-kensetsu.co.jp/>

## 人と人が紡いでゆく絆を信じて、地域の発展に寄与する建設会社



### 星の降る里と共に生きてきた地域密着型の“道を作る会社”

星が輝き、棚田のあるお茶の村。そう形容される八女市星野村に所在。昭和29年に“道を作る会社”として創業し、60余年。「地域社会への貢献」を第一に考え地域に密着してきた総合建設会社である。

### 地元復旧に全力を注ぐ社員に働きやすい職場環境を

2012年7月の集中豪雨による災害時、自社の片づけもそこそこに地元星野村の復旧に全力を注いだ。

『普通、災害時は人材が不足するもの。どの会社も社員数が足りないとされる中、弊社は逆に災害をきっかけに若い社員が増えました。地元復旧のために苦勞している社員に感謝して、少しでも働きやすい職場環境を作ろうと2013年に子育て応援宣言企業に登録し、子育て支援のための制度の整備に取り組んできた次第です。』

その時の様子を橋爪社長はこのように語る。

倍増した若手社員に育児参加してもらうため、緊急性と必要性のない限り残業を無くし、定時退社を奨励。妻が産出した際に男性社員が取得できる特別休暇、子供が病気の時に取得できる看護休暇、また幼稚園・保育園、小学校行事参加のための休暇や時間単位・半日単位の休暇制度もある。

もちろん、仕事と子育ての両立がしやすい職場環境づくりや育児休業中の不安を和らげるための対応も万全にした。主に社内研修やHPによる制度の周知やメール交換などによる定期的な情報交換を行うほか、復帰後の勤

務形態や土日勤務の可否、子供の預け先等、きめ細やかな相談に応じている。短時間勤務中も賞与を減額せず通常通り支給している。また、職場復帰に向けた講習等、休業中もスキルアップにつながるプログラムも提供している。このプログラムを利用し、施工管理技士1級・2級等を取得して復帰後の仕事に大いに役立っている社員もいる。

### 担当者の声

### 取組が、社員と家族の安心につながり働く上での励みになっています



営業総務部 統括部長  
佐藤 玲央さん

男性社員も育児に積極的に参加できるよう様々な取組を行ってきました。そのことが社員とその家族の大きな安心につながり、仕事に対する家族の支えや社員の励みになっています。

当社では「2年間で男性の育児休業1人以上の取得」を目標としており、今後も環境の整備に取り組みでいきたいと考えています。

### 社員の声

### 上司に相談しやすく、働きやすい職場です



男性スタッフ  
Aさん

定時退社や看護休暇の取得などで積極的に子育てに参加することが、家族に安心感を与えています。子供に何かあった時に職場で言い出せない、言い出しにくい環境の方も少なくないなか、会社や職場に両立支援制度への理解があるので、上司にも相談しやすく、とても働きやすいと感じています。

# 北筑前福祉会 特別養護老人ホーム 津屋崎園

企業  
DATA

◎住所：福津市奴山1174 ◎TEL：0940-52-3545 ◎設立：1978年(昭和53年)7月  
◎正社員数：41名 ◎入所：54名 ◎設備内容：スプリンクラー設置、居間兼食堂娯楽室、医務室、静養室、浴室(普通浴槽、特殊浴槽)、機能訓練室、相談室、厨房、事務室  
◎HP：<http://kitatukuzen.net>

## 利用者にも、職員にも、自立した生きがいのある生活を



### 利用者中心の介護福祉施設

『人と人とのふれあいを大切にし、自立した生き甲斐ある生活を応援する』ことをモットーに地域に根ざした特別養護老人ホーム。1978年7月に高齢者福祉施設の拠点として開園以来、ショートステイ、デイサービス、ケアプランセンター、グループホームなどの事業所を展開し、様々な介護の相談や要望に応えながら、くつろいだ雰囲気の中で、安心した毎日が送れるように利用者中心の介護を目指して地域に深く貢献している。

### 多様な働き方が選択可能な職場環境を整備

結婚・妊娠・出産・育児という大きなライフステージの変化から就労の継続が困難になる環境を改善し、離職せずに働き続けられる職場を目指して、「働きやすい環境づくり」に取り組んできた。「出産・育児の都合により業務に困難が生じた場合の業務内容変更や業務時間の調整」「段階的に仕事に慣れていく研修期間の設定(育児休業後の職場復帰時)」「保育所送迎や通院等家族のための半日単位の休暇や勤務時間の調整」「就学・就園に必要な子育て期の短時間勤務」等、様々な制度を整備。さらに、常勤から常勤のままの復帰や、常勤から非常勤へ勤務形態を変更して復帰することも可能としており、昨年の復帰率は概ね80%超。取組が一定の成果を挙げている。

また、当園は制度を整備するだけでなくサポート体制を作り、利用しやすい雰囲気を作ることに注力。これからも、園では職員の体制も充実させながら、個々の状況に応じた働き方が選択できる職場環境の整備に取り組んでいく。

### 担当者の声

### 男性職員が増える現場で、積極的に子育て応援



施設長・所長  
白石 伊津美さん

近年、介護の現場は、男性職員が増えています。男性が育児休業を利用して、子育てに参加することは、子供の健やかな成長に繋がり、夫婦の相互理解も深まるので、とても良いことです。今泉さんの場合、園が忙しくなる時期を避け、休暇を希望する月の3ヶ月前に相談してもらったことで、私達も新人職員を採用し、彼の休暇中もスムーズに仕事が行えるよう準備ができました。

育児参加の経験は、仕事をする上でも役立つものだと思います。今後も子育て応援に積極的に取り組み、職員のサポート体制を強化したいと思います。

### 社員の声

### 育児休業取得の大切さを次世代に伝えたい



介護士  
今泉 操さん

私は、妻の産休・育児休業が明けるタイミングで、妻の仕事復帰をバックアップすること、私自身の育児参加を目的に、3ヶ月の育児休業を取得しました。育児休業を申請するにあたって不安もありましたが、白石施設長が快く相談のつてくださったり、周囲の職員のサポート体制が整っていたおかげで安心して利用できました。

休暇中は、育児の喜びや、母親の苦勞も知ることができ、今しかできない貴重な経験を積むことができました。育児休業を取得することの大切さを次世代へ伝えていきたいです。